

# 福岡六大学野球春季リーグ戦開幕 福工大スポーツ NO.4

## 開幕2連勝で好発進!



(山本監督コメント)  
開幕戦を連勝でスタートを切る事ができた。1戦目は先頭の田中が初回から勢いをつけてくれて、そのまま終始リードを保つことができ勝利することができた。2戦目は、先にリードを許したが、粘り強く戦うF1Tスタイルの野球ができ、中盤に追いつき、終盤に一気に突き放し、次の日経大戦に勢いのつく勝利をつかむことができた。

	福工大	福教大
4/8(土)	8	2
4/9(日)	9	1

### 次試合のご案内

日時:4月15日(土) 9時【九産大G】

日時:4月16日(日)14時【九産大G】

対戦相手:日本経済大学

### 観戦応援ツアーのご案内

【日程】2023年4月29日(土)

【会場】PayPayドーム 【料金】無料



福岡六大学野球 春季リーグ戦が開幕した。  
福工大硬式野球部は、4月8日・9日、春季リーグの初戦で福教大と対戦した(九産大G)。

4月8日(土)の試合は、坂本 陽輝(4年 社環)が先発。コースをつく丁寧なピッチングで6回を1失点に抑える好投を見せた。攻撃では、1番の田中 雄大(3年 社環)が、初回からチームを勢いづかせる安打で出塁。この試合、3打数3安打と昨年、春・秋とベストナインを獲得している貫録を見せつけ、チームをけん引した。この日は、初回から点数を積み重ね、終始リードを保ち、最後は抑えのエース増木 武寛(4年 社環)が、7回から登板し、試合を締めくくった。

4月9日(日) 続く第2戦では、初回に1点を先制され、中盤まで追いかける展開となった。中盤に9番の松延 亜優空(3年 社環)が、粘りながらライト前の同点タイムリーを放つ。その後、2アウトから内田 稜馬(3年 社環)が、逆転の2点タイムリーで試合をひっくり返し、3-1とリードした。終盤までF1Tスタイルである粘りの野球で着実に点を積み重ね、開幕2連勝の好スタートを切った。